

別記様式第10号（第28条関係）

※ 受理警察署	※ 欄は記載不要(以下同じ)	署
※ 受理番号		理年月日

護身用具届出書

警備業法第17条第2項において準用する同法第16条第2項の規定により届出をします。

京都府公安委員会 殿

届出日を記載 令和●年 ●月 ●日

届出者の氏名又は名称及び住所

京都市○○区△△町1番地1

□□警備保障株式会社

代表取締役 都 太郎

フリガナはカタカナで記入し、濁点は1マスに記入する。姓と名は1マス空ける。なお、株式会社は(KK)、有限会社は(コウ)と略記する。

(フリガナ) 氏名又は名称	シカクシカクケイヒ、ホシヨウ (KK)	個人営業の場合は営業者氏名、法人の場合は法人名称を記載
認定をした公安委員会の名称	京都府公安委員会	
認定の番号	6 1 0 0 0 ● ● ●	
護身用具	種類	別紙のとおり
	規格	別紙のとおり
	機能	別紙のとおり
	使用基準	別紙のとおり
	当該護身用具を携帯して行う警備業務の内容	別紙のとおり

2種類以上の護身用具を届出する際には、「別紙のとおり」と記入して、別紙に護身用具の種類ごとに記載する。

記載要領

- ※印欄には、記載しないこと。
- 「護身用具」欄には、護身用具の種類ごとに記載すること。
- 「規格」欄には、当該護身用具の大きさ、重さ、材質、構造等を記載すること。
- 「機能」欄には、当該護身用具についての用法、使用した場合の効果等を記載すること。
- 「当該護身用具を携帯して行う警備業務の内容」欄には、当該警備業務の具体的な内容を記載すること。
- 所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

護身用具	種類	木製警戒棒		護身用具の記載は、 各種類ごとに行う。
	規格	材質＝木製 長さ＝60センチメートル 直径＝3センチメートル 重さ＝250グラム 形状＝円棒		
	機能	防護に際し、不審者の腕、足等を打ち突きすることによって、相手の攻撃を中止させ、又は凶器等を打ち払い落とすなどの効果を有する。		
	使用基準	2名以下で行う夜間警備業務の際に携帯し、専ら護身の用に供する。		
	当該護身用具を携帯して行う警備業務の内容	夜間の施設警備業務(2名以下に限る)		
	種類	木製警戒じょう		
	規格	材質＝木製 長さ＝128センチメートル 直径＝2.8センチメートル 重さ＝600グラム 形状＝円棒		
	機能	防護に際し、不審者の腕、足等を打ち突きすることによって、相手の攻撃を中止させ、又は凶器等を打ち払い落とすなどの効果を有する。		
	使用基準	警備業務に従事する際に携帯し、専ら護身の用に供する。		
	当該護身用具を携帯して行う警備業務の内容	〇〇発電所 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地〇 における施設警備業務		

木製警戒棒

護身用具の写真

(無背景、カラー、縦12cm×横8cm)

- ※ 護身用具の長さが確認できるよう、メジャー等を当てて撮影する。

木製警戒じょう

護身用具の写真

(無背景、カラー、縦12cm×横8cm)

- ※ 護身用具の長さが確認できるよう、メジャー等を当てて撮影する。

